

「オリンピック・パラリンピック推進室」の設置について

1 目的

2020年の「東京オリンピック・パラリンピック」開催に向け、ホストタウン登録をしているタイ王国やエチオピア連邦民主共和国、台湾（中華民国）からのキャンプ地誘致を推進するとともに、国際交流をより一層促進し、広く市民にPRし意識高揚を図る。

2 組織機構改編

「オリンピック・パラリンピック推進室」を教育委員会スポーツ振興課内に設置する。

3 推進強化する取組

- ①オリンピック・パラリンピックに向けた市民の意識高揚
障害者アスリートとの交流機会の提供など
- ②スポーツ国際交流員（SEA）の指導による競技スポーツの充実
市内小中学校での陸上競技指導、ハーフマラソンやスポーツ教室などの企画運営など
- ③キャンプ地誘致の推進と交流促進
大会前、大会中、大会後における相手国のトップアスリートや市民相互の交流など
- ④スポーツボランティアの育成と大会参画

4 スポーツ国際交流員の配置による取組（エチオピア出身 ビスネ ヤエ氏）

- ①ホストタウン事業の推進のため、エチオピア駐日大使館やオリンピック委員会などへの働きかけを行う。
エチオピアの歴史文化の勉強会
大会前後の選手団との交流会
ジュニアアスリートとの交流
- ②ジュニアアスリートなどの競技力向上への取組を強化する。
中学校での部活動指導
指導者への講習会
小中学校、高校などでの講習会の実施

5 改編時期

平成30年8月1日

（組織図）

